



2025(令和7)年10月31日

# 民児協すいな

## 第110号

### 吹田市民生・児童委員協議会



©2014  
大阪府もすやん

発行責任者・木田正章  
編集責任・広報部会  
吹田市泉町1丁目3-40  
吹田市役所福祉総務室内



市協議会HP



# 主任兒童委員活動



## 個性あふれたお面作りと豆まきで鬼退治

# 親子で遊ぼう

2.1(土)

## 千里市民センター 大ホール

山田体育館の体育指導員と一緒に親子体操を楽しみ、元気いっぱいに走って笑顔の子ども達の姿がたくさん見られました。

その後、紙皿や毛糸で鬼のお面を作り、色鮮やかで個性あふれる作品が完成しました。

最後には赤鬼・青鬼が登場し、節分の豆まきで会場は泣き笑いで盛り上りました。

14組38人の親子が体を動かし創作や季節行事を満喫しました。 (岸田・増谷)

## 北摂ブロック研修会

7.3(木)

## メイシアター 小ホール



## 5市町の主任児童委員

ぶりや児童・教職員の成長過程が描かれています。

第2部は、島本町・高槻市・茨木市・摂津市・吹田市の各市町での地域と学校の関わりについて事例報告があり、いろいろと工夫された活動の様子がよくわかりました。



## 映画リーフレット

(橋本・武田)

関西大学文学部心理学専修の加戸 陽子先生を招いて「発達が気になる子の理解」という議題で研修会が開催され、特に印象に残った点を紹介します。

今の子どもさんに対しては叱ることより、ほめて育てる具体的な言い方とタイミングが大切となっています。あいまいな表現をさせて良かった点をはっきりと



## 研修会の様子

# 子どもを知る会

7.14(月)

## 保健センター 研修室

うからうつうく言うので  
げると効果があります。他のことに集中している時などに、かける言葉に  
気をつけて、子どもの視点に立ち、見てあたり前とみなさない。認めら  
れている、理解されていると感じさせることが大事だと思います。

(小田・前川・塙見)

## みんなのオアシス

No.2

メッセージ  
待つてます

### 前回の『オアシス』 読まれましたか?

このコーナーは、皆さん  
のメッセージを掲載し、  
民生・児童委員の交流を  
深めます。「オアシス」の  
ようにホットとするコーナー  
を目指しています。



てもうえない。いつも返事  
は「元気やし、来てもらわ  
んでええわ。」

ところが、ある日、訪問  
すると、重そうな古新聞を  
ゴミ捨て場に苦労しながら  
出しているのに出会った。

「民生のBです。手伝いま  
しょうか?」と声をかけ、  
古新聞を運ぶとともに嬉し  
そうに感謝いただいた。そ  
れ以降、インター・ホン越し  
でなく玄関先で、楽しくお  
しゃべりしている。

### 2 若手のYさんはすご く悩んで、苦労しま した。

ください。匿名  
でもちろんOKです。

メッセージは各地区広  
報部員へお送りください。

### 4 Mさん

おられる高齢の方から、  
年金の使い込みや言葉の  
暴力を家族から受けている  
とご相談がありました。

ご本人も1年以上悩んで  
おられましたが、とうとう  
家を出られる決心をされ、  
された専門の不動産屋さん  
(堀江・山野・戸田・後藤)

◎おひとり暮らしの高  
齢者の女性、何回も見守  
り訪問に行くが、イン  
ター・ホン越しでしか会つ  
ない。

◎おられる高齢の方から、  
年金の使い込みや言葉の  
暴力を家族から受けている  
とご相談がありました。

◎自分的人生だけでは知  
ることのない、多くのこと  
も学びました。



うな悩みも多いのでは。続  
いて素敵なお2人のメッ  
セージを紹介します。

### 3 Sさん

◎民生・児童委員をして  
いて皆さんも同じだと思  
いますが、「ありがとう。お  
世話になつたね」とどれほ  
ど言つてもらつたことで  
しようか。一生懸命その人  
のことを思つて訪問し、連  
絡を取つたり、気もつか  
い、忙しくもあるけど、感  
謝の言葉を貰つたときは  
は、安堵と充実感がありま  
す。

千一地区 片淵 昭一

しかしながら、現在の状  
況は新しい扱い手がなかな  
か見つからず、欠員5人と  
非常に厳しい状況です。民  
生活動をもつと簡潔にと考  
え、少しずつでも実施して  
いこうと思います。

## 民声

千一地区民生・  
児童委員会は、  
日々の民生活動の  
ほか、敬老行事、  
福祉委員会の支援、  
運動会・毎朝の見守り活動など  
への協力を1年を通じ  
て行っています。



年4回のふれあい昼食会



学生さんのチアリーディング

## 児童部会

11月6日(水)に部員21人で午前中は古江台にある大阪市立弘済みらい園・のぞみ園へ見学に行き、午後はメイシアターで家庭児童相談室による吹田市ヤングケアラー支援ガイドラインの説明講習を受けた。

見学施設は、それぞれ40人の定員で、部屋は2人または4人部屋で生活する。入所児の7、8割は被虐待経験があるそうだ。

生活は、規則正しい生活リズムが身につくように作られ、自立を目指し、洗濯など身の回りのことは個人で行い、当番活動は分担する。平日小中学生は隣接する施設専属の学校へ通うが昼食は園で食べる。高校生は自分達で弁当を作っている。毎月のように行事が行われ、企画から子どもも一緒に取り組んでいる。元旦お祝い会は、正月でも家庭に帰れない子のために行われる。心の安定のため週1回のセラピーやカウンセリングなどがなされている。高校卒業前にはひとりでも生活できるように1人部屋で過ごす練習もする。

ヤングケアラーとは、過度な家族の世話で1日3時間以上奪われている39歳以下のことで、小中学生で5%位が重いケア責任を担っている可能性があるそうだ。

困難家庭に気づけば、慎重に信頼関係を築いた上で関係機関と連携して支援していく必要がある。

両研修を受けて、子ども達の置かれている厳しい生活環境に対し、私達は子どもに寄り添い健やかな生活を願い、できる身近なことから取り組もう。

吹一地区 川上 哲明

## 研修福祉部会

10月8日(火)秋空のさわやかなお天気のもと、管外研修に参加しました。研修場所は福祉と防災を考えるをテーマに、南港にあるATCエイジレスセンター、大阪市立阿倍野防災センターに行ってきました。

エイジレスセンターでは電動車いすや電子補声器など、さまざまな介護福祉器具の説明を聞き、体験をさせていただきました。

防災センターでは、初期消火訓練や災害発生直後の街を再現したセットでの津波や余震体験、そして、60数秒もの震度7の揺れ体験をして、あまりの揺れの強さ大きさに恐怖に凍りついてしまいました。この研修を通して、私はこれからも福祉活動や防災減災活動に積極的に取り組んでいきたいと思います。



消防訓練

## 広報部会

7月22日(火)吹田市総合防災センターにて、槇野 純世氏を講師にお迎えして「広報活動スキルアップ研修」を行いました。

ホームページの役割や活用を念頭に講義を聞いたあとワーク形式でみんなで考え方を出し合いました。

『とにかく広くは伝わりにくいので、誰に伝えるか決めてからつくらないと何も伝わらない』と言われました。

ホームページにきてもらうためにアプローチが大切ですが、広報部会ではまだ対象者(見てもらいたい人)や掲載内容が絞り切れなかったので、具体的・現実的な意見にはまとまりませんでした。

広報は見出しの付け方など見せ方に注意と工夫が必要であることを再認識した研修でした。

今後のホームページ、民児協すいたの作成に活かしていきたいと思います。

(中川・増田)



槇野先生の講義

## 全体研修 「災害時要援護者名簿の活用方法について」 (2月27日メイシアターにて)

木田 正章会長より「災害時要援護者名簿」の活用による具体的な取り組みが重要であると話があった。次に、福祉総務室の職員から、名簿の活用目的は、声かけや見守り活動による関係づくりであり、登録者数は令和6年3月末で14,365人となった。さらに、2年間で9,200人に個別避難計画を送付、避難場所や経路、緊急連絡先や支援者を記載して返送をお願いしていると話があった。

続いて、3地区の災害時要援護者支援の取り組みについて発表があった。

**吹二地区** 要援護者を独居、老世帯、身障などに分けて「災害時要援護者安全確認マップ」を作成、自治会長と民生・児童委員で訪問を行い、防災訓練日に、安否確認のため自宅玄関前へのハンカチの提示を依頼している。令和6年の掲示率は90%と前年より10%の改善となった。今後は、自主防災組織との連携強化、名簿の精度アップと個別計画の策定が課題である。

**五月が丘地区** 要援護者と安全安心カード作成者に対して、「要援護者」、「安心安全カード作成者」「重複する者」に分けて、民生・児童委員と防災委員会総務部が、訪問し状況確認している。さらに、訪問記録のカードを作り活用している。また、平成30年6月の大坂北部地震時には、要援護者の訪問を行ったが、各団体との連携と顔の見える関係づくりが大切であることを認識した。

**山二地区** 民生・児童委員と支援組織メンバーで220人の聞き取り調査を行った。その結果、支援があれば避難できる人が190人、残りは医療機関の支援が必要で支援内容を検討する必要がある。また、自治会の安否確認は年2回実施、自主作成の「無事ですカード」を活用した訓練を行っている。課題は、名簿の更新対応や報告時間の短縮などがあげられる。

最後に、災害時要援護者支援のポイントは、民生・児童委員と自治会や防災組織との連携、そして住民への日々声掛けによる顔の見える関係づくりが大切である。



福祉総務室職員による制度説明



3地区の取組報告



山二地区の発表

(小宮・石井・高橋)

**あなたの担当は  
どんな人?!**

 (80代男性)

身体のことを心配してくれたり、常に声をかけてくれる親切な人だよ

 (80代男性)

いつも飛び跳ねている感で考えたらすぐ行動な人  
笑顔を絶やさないヒマワリみたいな人

 (80代女性)

何かあったときでも身軽に動いてくれるので安心して頼れるよ

 (70代女性)

仕事をしながらも連絡をするとなんでも気軽に相談ができるよ

**関わって  
うれしかったことは**

 (80代男性)

ひとり暮しだけど「もう少し長生きしてもいいかな」と思わせてくれる民生委員さんだから会うだけうれしいよ

 (90代女性)

訪問の時に手書きの手紙を渡してくれるので手紙を読むのが楽しみ

 (80代女性)

足が痛くて手すりがほしいとぼやいていたら、すぐに包括さんにつないでくれたよ

(木下・本野)

**みんなおしゃて**

普段関わっている各地域の  
担当民生・児童委員について  
聞いてみたよ



# 令和7年度 吹田市民生・児童委員大会 総会

後藤市長をはじめ、来賓臨席のもと開催された。

定年功労者、永年勤続者に感謝状と記念品が贈呈された。

## 《厚生労働大臣特別表彰》

定年功労民生・児童委員…3名

## 《市長表彰》

20年勤続…17名 10年勤続…10名

「地域共生社会の実現」

「ICT活用による活動環境の整備」

「地域とのつながりを強化し、次世代の担い手の確保」

「これまでの諸先輩方の活動から学ぶ」

自ら研鑽に励み、地域福祉のより一層の推進のため大会

宣言が読み上げられた。

総会は、令和6年度事業報告・会計監査報告・令和7年度事業計画・会計予算が報告され閉会した。

(堀江・山野)

6月27日(金)メイシアター大ホール



大会宣言

## 表彰者

### 1. 厚生労働大臣特別表彰

高橋 福惠

肥田 静江

肥田 久美子

### 2. 市長表彰

#### 〈20年表彰〉

上野 茂子(吹一)

只埜 昌子(東)

宮崎 和子(豊一)

坂本 淑子(山三・山五)

多田 和美(北千里)

#### 〈10年表彰〉

伊東 佐知子(吹二)

大原 猛(岸部)

福原 早紀(北千里)

伊藤 成康(吹六)

田畠 順子(千里新田)

石田 和彦(豊一)

谷藤 圭子(南千里Ⅰ)

土井 留美(吹三)

奥 保明(千里新田)

福岡 定弘(山一)

入江 政治(南千里Ⅱ)

井手 千鶴子(東)

向川 正美(豊一)

齊藤 仁美(山三・山五)

杉田 英幹(北千里)

柴田 由佳(東)

岡田 由紀子(南千里Ⅰ)

赤井 都子栄(北千里)

植村 裕子(吹南)

北羅 美和(南千里Ⅱ)

村田 静野(岸部)

河野 照代(南千里Ⅱ)

### 3. 会長感謝状

#### 〈30年勤続〉

永留 博文(片山)

#### 〈20年勤続〉

上野 茂子(吹一)

只埜 昌子(東)

宮崎 和子(豊一)

齊藤 仁美(山三・山五)

久保田 ますみ(南千里Ⅱ)

伊藤 成康(吹六)

西岡 弘子(五月が丘)

向川 正美(豊一)

坂本 淑子(山三・山五)

入江 政治(南千里Ⅱ)

土井 留美(吹三)

田畠 順子(千里新田)

石田 和彦(豊一)

河野 紀子(山三・山五)

杉田 英幹(北千里)

井手 千鶴子(東)

奥 保明(千里新田)

福岡 定弘(山一)

谷藤 圭子(南千里Ⅰ)

多田 和美(北千里)

#### 〈10年勤続〉

川上 哲明(吹一)

村上 ゆかり(吹二)

福田 圭子(吹三)

前川 和義(東)

竹田 正明(吹南)

木下 薫(吹南)

松尾 勇兒(千一)

塙見 美香(五月が丘)

藤元 貴子(豊一)

井脇 富美代(岸部)

平野 慎一(山一)

籠谷 初音(山一)

片山 和代(山二)

沖 幸代(南千里Ⅱ)

越智 京子(藤白台)

宮村 加代子(吹一)

伊東 佐知子(吹二)

宇山 真由美(吹三)

川村 恵美(東)

植村 裕子(吹南)

吉田 初美(片山)

上田 文代(千一)

角富 美智子(千三)

榎原 義勝(豊津)

西川 緑一(岸部)

藪本 洋子(山一)

山田 英夫(山一)

山西 満千子(山三・山五)

河野 照代(南千里Ⅱ)

辻川 さとみ(藤白台)

河井 康晴(吹六)

高澤 健一(吹三)

柴田 由佳(東)

住吉 光代(東)

石黒 美幸(吹南)

小幡 陽子(片山)

木田 裕之(千一)

小笠原 實(千三)

村田 静野(岸部)

桑原 薫(岸部)

櫻井 千鶴(山一)

高田 美穂(山二)

岡田 由紀子(南千里Ⅰ)

福原 早紀(北千里)

石井 裕子(藤白台)

田中 瞳子(吹二)

内田 和美(吹三)

菱木 真美(東)

笠井 禮子(吹南)

植田 尚子(吹南)

高塚 世美子(千一)

安東 律子(千二)

上坂 純朗(千三)

大原 猛(岸部)

野口 美代子(山一)

阿部 民枝(山一)

竹内 多榮子(山二)

北羅 美和(南千里Ⅱ)

赤井 都子栄(北千里)

(敬称略)

# 新任委員紹介

五月が丘地区  
久保 順子豊一地区  
上田 あけみ五月が丘地区  
久保 順子五月が丘地区  
平山 光一吹三地区  
上田 恵子

令和6年12月1日委嘱

豊一地区  
妹尾 亜哉千三地区  
武井 佳奈山手地区  
森山 利恵

令和7年4月1日委嘱

藤白台地区  
今西 俊郎藤白台地区  
坂井 啓子南千里Ⅱ地区  
土居寿賀栄南千里Ⅱ地区  
中世古やよい山二地区  
豊田 知子豊一地区  
久田 清美豊一地区  
野坂美和子藤白台地区  
川口 靖之藤白台地区  
大林 伸嘉藤白台地区  
古川 敦子北千里地区  
尾高 真弓北千里地区  
花井 洋子

## 編集後記

今年は近年でも特に酷暑の日々が続き体調を気遣う毎日でした。

本号では、民生・児童委員が、そんな中でも元気でいきいきと楽しく過ごせる人とのつながりを大切に各部会研修会や講演会、子ども見守り活動に取り組む様子を紹介しています。夢のファミリーフェスタでは大勢の家族連れが参加され、楽しい笑顔の様子が見られました。

(井口)